

子宮頸部円錐切除術後の妊娠の周産期予後に関する研究

(1) 研究の意義・目的について

子宮頸部円錐切除術は初期の子宮頸癌やその前癌病変に対して行われる、妊孕性を温存する手術法です。子宮がん検診により早期に発見・治療された方が多くなるにつれ、手術後の妊娠も増加傾向にあります。手術後の方の妊娠には早産などのリスクがあることが知られています。

円錐切除術後の妊婦さんに適切な支援を行うことと、子宮頸部円錐切除術の術式の改良を目的に、データの収集・分析を行っております。

(2) 研究の方法について

診療録の記載からデータを収集します。

(3) 予測される結果(利益・不利益)について

診療の記録を後から分析しますので、診療の時点での利益・不利益はありません。

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人情報を直接同定できるような情報は使用されません。

また、研究の発表時にも個人情報は使用されません。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は、学会発表および学術論文として公表される予定です。

(6) 費用について

謝礼などはお渡ししておりません。

(7) 問い合わせ等の連絡先

日本赤十字社医療センター 産婦人科 山田 学

〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22 電話：03-3400-1311